

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成27年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市どうぶつ公園協会	所管課	建設局 公園管理課
-----	---------------------	-----	-----------

団体に対するミッション <p>「到津の森公園」「ひびき動物ワールド」の指定管理者として、管理・運営事業を通じ、健康で豊かな市民生活の実現、都市機能の増進、自然環境教育を推進する。</p>	行財政改革大綱における見直し内容 <p>平成26年度から、到津の森公園の指定管理業務に特化した団体として、これまで以上に組織をスリム化し、安定経営に努めるとともに、動物園を運営する団体として、市民に分かりやすい名称に変更する。</p>
---	---

ミッションに基づく中期計画							
3~5年後に目指す状態	「到津の森公園」「ひびき動物ワールド」の指定管理者として、管理・運営事業を通じ、健康で豊かな市民生活の実現、都市機能の増進、自然環境教育を推進しながら、入園者数の増加（平成30年度までに39万人）を目指す。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H26 実績	H27 目標 実績		H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
どうぶつ公園協会の収支均衡	△8,944 千円	指定管理期間 (H26~30年 度)での収支 黒字	15,386 千円	指定管理期間 (H26~30年 度)での収支 黒字	指定管理期間 (H26~30年 度)での収支 黒字	指定管理期間 (H26~30年 度)での収支 黒字	次期指定管理者募集までに 指管理集まで 設定
動物種数・飼育頭数	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	
動物サポーター・到津の森公園基金の園内での支援勧誘活動・理事長等による支援受入	年3回 280万円	年3回 100万円	年3回 276万円	年3回 100万円	年3回 100万円	年3回 100万円	
学習プログラム受入校数、参加人数	44校 3,289人	40校 3,000人	45校 3,389人	40校 3,000人	40校 3,000人	40校 3,000人	

ミッションの遂行状況の評価（平成27年度）			
団体における評価 <p>到津の森公園については、動物に関するイベントや林間学園等の事業を通じて体験学習や自然環境教育を行い、満足度98%という高い評価を得られた。また、入園者数も目標の38万人を達成した。 これは、幅広い世代の入園者の増加に取り組むために、エリアごとに10~15年後を想定した植栽を随時行い、四季折々の植物が充実してきたことも目標達成の要因の一つとして考える。 ひびき動物ワールドについても、入園者数7.8万人及び満足度90%の目標を達成した。 収支については15,386千円の単年度黒字を達成した。今後、さらなる入園者数の増加を図ること等により、引き続き収支黒字を目指している。</p>	市の評価 <p>到津の森公園・ひびき動物ワールドとともに、入園者数・満足度が目標を上回り、単年度黒字を達成したことは評価する。 また、到津の森公園の支援勧誘活動等による寄付受入金額も、目標を上回っており、評価できる。</p>		
今後の課題及び見直し内容 <p>入園者数の増加が今後も課題であり、具体的対策として、少子高齢社会に鑑み、市内外の幅広い世代の方がリピーターとなるような施策を検討する。 その一環として、到津の森公園の最終目標である入園者数39万人を達成するため、動物だけではなく四季折々の植物を充実させることなどにより、公園としての魅力を高める。 また、公園の質的向上に努めることにより、市民生活のクオリティ向上に貢献していく。</p>	団体への改善指導内容 <p>指定管理期間での収支黒字を目指すために、親子だけでなく、幅広い世代の夫婦・カップルでも来たいと思える園の魅力を発信すること。また、北九州市内だけでなく、北九州市近郊都市からの団体客誘致や、福岡県近郊の市町村からの個人利用客誘致に努めるとともに、企業からの支援を増やすことを求めていく。</p>		

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	事業範囲を見直す団体
北九州市行財政改革推進計画に掲載された内容の取組みは完了。 ・H26.3.31で響灘緑地の指定管理業務を終了した。 ・到津の森公園に特化した団体として、組織体制及び職員配置を見直し、H26.4.1付で市民に分かりやすい名称として、「北九州市どうぶつ公園協会」へ名称変更した。	